

令和8年度 新城市の主な事業(抜粋)

目 次

国の「重点支援地方交付金」を活用した経済支援策	1
【重要政策推進事業】	
税務一般事務経費（自治体DX推進事業）	2
新城北設ごみ処理広域化施設整備事業	3
こども園再編・整備事業（新城こども園）	4
豊橋新城スマートIC（仮称）整備事業	5
少人数学級編成推進事業	6
【政策横断重点戦略】	
移住定住OSI事業	7
【1 個性輝く多様な「ひと」が活躍しています】	
ニューキャッスル会議共同声明実現事業	8
若者総合政策事業	9
保育所管理事業	10
すこやか子育て事業・乳幼児健康診査事業	11
予防接種事業	12
コミュニティ・スクール推進事業	13
学校給食共同調理場運営事業	14
【2 快適で潤いある「ちいき」に暮らしています】	
防災行政無線保守管理事業	15
地域公共交通計画推進事業	16
市民後見人育成事業	17
休日診療所運営事業	18
橋梁・トンネル・大型構造物長寿命化対策事業（長篠橋）	19
消防水利管理事業	20
消防通信指令運用事業	21
新城開府450年事業	22
【3 活力にあふれた「まち」になっています】	
公共バス運行事業	23
クリーンセンター整備事業	24
地域の人事部組織構築準備事業	25
新城木育プロジェクト事業	26
アジア競技大会推進事業	27
【4 行政経営編】	
公共施設マネジメント推進事業	28
固定資産家屋全棟調査事業	29
総合計画策定事業	30
自治体DX推進事業	31

SDGs との関係

SDGs は、2015 年 9 月の「国連持続可能な開発サミット」において採択された、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2030 年を期限とする国際目標です。

全ての関係者の役割を重視し、「誰一人として取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための、経済・社会・環境の様々な課題解決に向けた 17 のゴールと 169 のターゲットにより構成されています。

SDGs は、発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、SDGs の実現を目指すことは、人口減少を見据えた持続可能な地域社会・経済の確立や地方創生の実現に資するものであり、しんしろ創生の理念とも一致します。

今後は、地方創生の推進に向け、SDGs を原動力とした取り組みの推進や、様々な主体との連携を深めていくことが求められています。

本市では、各計画に SDGs の視点を採り入れ、様々な取り組みを推進するとともに、様々な主体の取り組みや連携を促進することとします。

※SDGs…Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。



国の「重点支援地方交付金※」を活用した 新城市の経済支援策が決まりました

※令和7年11月21日に閣議決定された国の補正予算第1号「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用した事業になります。

令和7年度3月補正予算

商品券を全市民にお届けします

■食料品等高騰対策支援事業

1人につき7,000円の商品券をお届けします。商品券は令和8年5月頃発送し、6月から利用開始の予定です。



事業費 335,909千円

(財源：重点支援地方交付金 321,320千円、
一般財源 14,589千円)

《問合せ》農業課 0536-23-7632

令和8年度当初予算

水道料金の基本料金を免除します

■水道事業会計出資金

令和8年12月期分と令和9年2月期分の水道料金の基本料金を免除します。なお、使用した水量にかかる料金や下水道等使用料は免除の対象ではありません。



事業費 163,065千円

(財源：重点支援地方交付金 163,065千円)

《問合せ》上下水道部 経営課 0536-23-7645

令和8年度当初予算

市内小中学生の学校給食費の負担軽減を行います

■学校給食共同調理場運営事業

【小学校】

市内小学校の令和8年度学校給食費無償化の実施にあたり、国が負担する分だけでは不足額が生じるため、この部分を市で負担し、無償化を実施します。



事業費 111,321千円

(財源：公立学校給食費負担軽減補助金 95,752千円、
重点支援地方交付金 15,569千円)

【中学校】

市内中学校の令和8年度学校給食費のうち、物価高騰による食材費の値上げ分（令和7年度30円、令和8年度40円の計70円分）を公費負担します。（学校給食費の1食単価は、400円、保護者負担は330円になります。）



事業費 79,116千円

(財源：重点支援地方交付金 13,846千円、
一般財源 65,270千円)

《問合せ》学校給食課 0536-22-9906

《その他、総合的な問合せ》企画調整課 0536-23-7620

重要政策推進事業

第2次新城市総合計画の施策体系

行政経営 将来に責任を持つ行財政運営をします
効率的で持続可能な行政運営を目指します



新規	2款 — 2項 — 1目 (税務総務費)	
	税務一般事務経費 (自治体 DX 推進事業)	令和8年度事業費 6,590千円

いつでも、どこでも、かんたんに税証明書が取得できます。



マルチコピー機
で簡単操作！

土日や出勤前後
でも OK！

※利用時間 6:30～23:00

コンビニ交付サービスを拡充することにより、市役所の開庁時間に関わらずマイナンバーカードを利用して、全国の最寄りのコンビニエンスストア等で税証明（課税証明書、非課税証明書、所得証明書）の取得が可能となります。

いつでも、どこでも、簡単に税証明書を取得できる方法を増やすことで、多様な住民ニーズに対応できるようになり、住民の利便性が向上します。

主な経費

委託料	6,545千円
手数料	45千円

財源

国庫補助金	3,294千円
市税等で負担する額	3,296千円

担当課：総務部 税務課

電 話：0536-23-7615

メールアドレス：zeimu@city.shinshiro.lg.jp

重要政策推進事業

第2次新城市総合計画の施策体系

まち 緑でゆとりを生み出します
持続可能な自立循環のまちをつくります



継 続	4 款 — 2 項 — 3 目 (クリーンセンター費)	
	新城北設ごみ処理広域化施設整備事業	令和8年度事業費 186千円

広域化施設の整備方法を検討します。

新城市と北設地区（設楽町・東栄町・豊根村・長野県根羽村）における、可燃ごみ処理の広域化を推進します。

関係者の意見を聴きながら、広域化施設の最適な整備方法（整備用地内で新設する又は新城市クリーンセンターを大規模改修若しくは基幹的設備改良により再延命化する）を比較検討します。



主な経費

整備方法検討等業務委託【令和8－9年度継続費】 (令和9年度債務負担行為)	令和8年度 0千円 令和9年度 15,026千円
報償費	120千円
費用弁償	66千円

財源

新城北設ごみ処理広域化施設整備負担金	30千円
市税等で負担する額	156千円

担当課：市民協働部 生活環境課

電 話：0536-23-7629

メールアドレス：kankyoush@city.shinshiro.lg.jp

重要政策推進事業

第2次新城市総合計画の施策体系

【ひと】 子育ての安全安心を守ります
保育ニーズに対応する保育サービスを進めます



継 続	3款 — 3項 — 13目 (児童福祉施設整備費)	
	こども園再編・整備事業(新城こども園)	令和8年度事業費 113,850千円

新城こども園に療育機能を整備します。



「新城市こども園再編・整備計画（令和6年7月策定）」に基づき、東郷東こども園に整備していた療育機能（統合保育）を新城こども園に機能移転します。

落ち着いて課題に取り組むことのできる個別課題室や、体を動かしながら感覚や道具の使い方などを楽しむ運動室等を設置し、自主性・主体性を高め、安心して自分を表現できる保育環境を整備します。

併せて長寿命化改修も行い、安全な施設整備と適切な維持管理に努めます。

主な経費

新城こども園改修工事	113,850千円
------------	-----------

財源

地方債	102,400千円
市税等で負担する額	11,450千円

担当課：健康福祉部 こども未来課

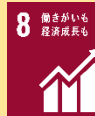
電 話：0536-23-7622

メールアドレス：kodomom@city.shinshiro.lg.jp

重要政策推進事業

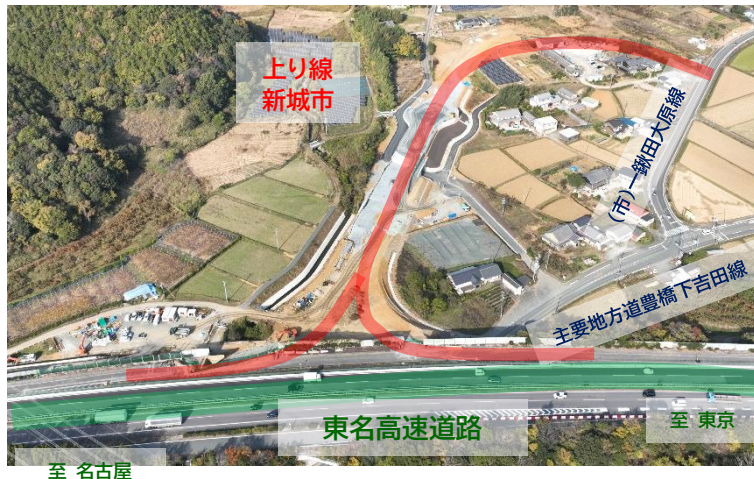
第2次新城市総合計画の施策体系

まち 経済と生活を支える都市基盤を整えます
道路網の整備を進めます



継 続	8款 — 1項 — 2目 (高規格道路対策費)	
	豊橋新城スマート IC (仮称) 整備事業	令和8年度事業費 165,757千円

スマート IC の早期供用に向け、工事を行います。



豊橋新城スマート IC (仮称) は、令和3年8月6日に新規事業化の決定がされました。早期供用に向け、共同事業者となる豊橋市、中日本高速道路株式会社と共に事業を実施しています。令和8年度は、スマート IC の案内標識設置工事、交差点改良工事等を行います。

主な経費

工事費負担金(ランプ部工事)	57,350千円
交差点改良工事	41,513千円
案内標識設置工事	40,000千円
道路附属施設等工事	19,500千円
交通量調査等業務負担金	6,963千円
その他事務経費	431千円

財源

国庫補助金	31,350千円
県補助金	20,000千円
地方債	23,000千円
負担金	20,000千円
市税等で負担する額	71,407千円

担当課：建設部 土木課 道路政策推進室

電 話：0536-22-9919

メールアドレス：doroseisaku@city.shinshiro.lg.jp

重要政策推進事業

第2次新城市総合計画の施策体系

ひと 能力と個性を活かす力を育てます
確かな学力と郷土愛を育む学校づくりを進めます



新 規	10款 — 2項 — 2目 (教育振興費)	
	少人数学級編成推進事業	令和8年度事業費 15,696千円

小学校の少人数学級化の取り組みを進めます。



一人一人の児童にきめ細やかな指導・支援が展開できるように、国に先駆けて小学校1、2年生を対象に30人学級の実現を目指します。

小学校1、2年生は新しく学校生活をスタートさせ、学びの土台を作る大切な時期です。児童に向き合う時間を十分に確保し、それぞれのもつ豊かな個性を的確に捉えながら、児童の成長を支えていきます。

少人数学級編成を推進することで、児童の学校における満足感・充実感を高め、子どもが輝き、安心して学ぶことができる環境づくりをしていきます。

主な経費

常勤講師給料等	15,696千円
---------	----------

財源

市税等で負担する額	15,696千円
-----------	----------

担当課：教育部 学校教育課

電 話：0536-23-7607

メールアドレス：shinky-3@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

重点戦略 地域づくりに関わる人々（つながる^{ひと}市民）を増やします



継 続	2款 — 1項 — 9目 （企画費）	
	移住定住OSI事業	令和8年度事業費 2,463千円

3つの柱を総合的に実施し、移住定住者の確保に努めます。



① 発信する（Outreach）

新城市を多くの方に知っていただくため、SNS（インスタグラム）を活用して情報発信を行います。

② 確保する（Secure）

移住関連イベントへ参加し、シティプロモーションから交流人口や関係人口、移住者の確保へと繋げていきます。また、移住する際に必要な住まいや働く場の確保にも努めていきます。



Instagram



③ 調査する（Investigate）

効率的で効果的な移住定住施策を実施するため、移住者（希望者含む）や若者の意識調査を行います。

主な経費

旅費	338千円
需用費	252千円
役務費	385千円
委託料	360千円
使用料及び賃借料	78千円
負担金補助及び交付金	1,050千円

財源

県補助金	750千円
みんなのまちづくり基金	706千円
市税等で負担する額	1,007千円

担当課：企画部 企画調整課

電 話：0536-23-7620

メールアドレス：kikaku@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ひと 認め合い、支え合う人をつなげます
グローバル人材育成と多文化共生を進めます



継 続	2 款 — 1 項 — 1 目 （一般管理費）	
	ニューキャッスル会議共同声明実現事業	令和8年度事業費 1,370千円

ニューキャッスル都市間の交流を推進します。



令和7年度にラトビアのヤンピルスで開催されたニューキャッスル・アライアンス会議で合意されたプロジェクトを実施します。

また、令和8年度に開催される愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会の開催に合わせて、ニューキャッスル・アライアンス加盟都市のマレーシア・コタバルへ高校生を派遣し、交流を深めます。

ニューキャッスル・アライアンス会議 2025 共同声明（概要）

- ・会議は継続的に2年ごとに開催する。（次期開催地 ドイツ・ノイブルグ）
- ・イギリスのニューカッスル・アポン・タインにコーディネーターを置く。
- ・ニューキャッスル友の会という自主的なネットワークを設立する。
- ・毎年 Newcastles of the World 週間を設け、イベントを実施する。
- ・各都市で教育アンバサダーを任命し、共同プロジェクトを実施する。
- ・2026 年 6 月 16 日に Race for Peace（平和のためのレース）を開催する。

主な経費

役務費	10千円
委託料	1,000千円
負担金補助及び交付金	360千円

財源

県補助金	450千円
諸収入（県市町村振興協会助成金）	450千円
多文化共生基金	470千円

担当課：市民協働部 市民自治推進課

電 話：0536-23-7697

メールアドレス：shiminjichi@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ひと 認め合い、支え合う人をつなげます
若者と女性の活躍領域を広げます



継 続	2款 — 1項 — 9目 (企画費)	
	若者総合政策事業	令和8年度事業費 3,354千円

「若者が活躍できるまち」を目指します。



新城市若者議会が平成27年4月に設置されてから10年という節目を迎えました。これを機に、「第2次新城市若者総合政策」を令和7年9月に策定しました。これに基づき、若者議会で議論されたさまざまな政策を推進し、若者が地域で活躍できるまちづくりを目指します。

第11期若者議会から提案された事業

食歴伝 新城の魅力を拡散事業	・若者目線で特産品をPRする動画を作成 ・長篠・設楽原の戦いに関する4コマ漫画やマップを作成
帰ってこりん！若者同窓会応援事業	・「おかえり若者同窓会応援制度」の創設
れっつごーまちなみ！事業	・新城まちなみ情報センターの使い方をPR

主な経費

食歴伝 新城の魅力を拡散事業	2,424千円
帰ってこりん！若者同窓会応援事業	210千円
れっつごーまちなみ！事業	287千円
若者チャレンジ補助金	433千円

財源

みんなのまちづくり基金	1,667千円
市税等で負担する額	1,687千円

担当課：市民協働部 市民自治推進課

電 話：0536-23-7697

メールアドレス：shiminjichi@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ひと 子育ての安全安心を守ります

保育ニーズに対応する保育サービスを進めます



新 規

3款 — 3項 — 6目 (保育所費)

保育所管理事業

(第2子以降の保育料無償化・こども誰でも通園制度)

第2子以降の保育料を無償化します。



第2子以降の3歳未満児の保育料については、保護者の所得に関係なく無償化し、多子世帯の経済的負担の軽減を図ります。

こども誰でも通園制度を実施します。


こどもの良質な成育環境を整備するとともに、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらずに支援することを目的とした新たな通園制度となる「こども誰でも通園制度」を実施します。

- ・対 象 児 童：0歳6か月から満3歳未満の未就園児
- ・利用可能枠：月10時間
- ・実 施 場 所：東郷中こども園
- ・利 用 日：午前9時～11時、午後1時～3時（給食なし）
- ・利 用 定 員：午前・午後 各2名
- ・利 用 料：1人1時間300円

担当課：健康福祉部 こども未来課

電 話：0536-23-7622

メールアドレス：kodomom@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系			<div>3</div> <div>すべての人に健康と福祉を</div> 
<div>ひと</div> 子育ての安全安心を守ります 子どもを産み育てる環境を整えます			
拡 充	4 款 — 1 項 — 4 目 （母子保健費）		
	すこやか子育て事業・乳幼児健康診査事業	令和8年度事業費 17,405千円	

5歳児健康診査の実施と市内全小学校でのフッ化物洗口事業開始します。



乳幼児の健やかな成長を支え、保護者の育児不安を軽減するため、新たに5歳児健康診査を実施します。これにより、就学に向けた必要な支援や育児に関する助言を行い、幼児の健康維持・向上を目指します。

令和8年度から市内全小学校およびこども園でフッ化物洗口を導入し、むし歯予防の促進と歯の健康に対する理解促進を図ります。

主な経費

報酬	5,376千円
役務費(郵便料、保険料)	1,256千円
需用費	1,466千円
委託料	3,122千円
その他の経費	6,185千円

財源

国庫補助金	8,278千円
県補助金	1,912千円
市税等で負担する額	7,215千円

担当課：健康福祉部 こども未来課 こども家庭センター

電 話：0536-23-7621

メールアドレス：kosodate@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ひと 能力と個性を活かす力を育てます
 安心で居心地の良い学校環境づくりを進めます



	10款 — 2項 — 2目 ・ 10款 — 3項 — 2目（教育振興費）	
新規	コミュニティ・スクール推進事業 (小学校費・中学校費)	令和8年度事業費 807千円

地域とともにある学校づくりを推進します。



共育の理念のもと大切にされてきた学校、地域のつながりを、コミュニティ・スクールという形で組織化することで充実させたいと考えています。

令和8年度より導入を開始し、令和10年度に市内全小・中学校での完全設置を想定しています。学校運営協議会委員や教職員に対する研修の実施、保護者や地域住民への周知を行い、より効果的な導入を目指します。

主な経費

小・中学校運営協議会委員報酬	753千円
小・中学校運営協議会委員交通費	54千円

財源

市税等で負担する額	807千円
-----------	-------

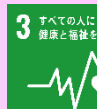
担当課：教育部 学校教育課

電話：0536-23-7607

メールアドレス：shinky-3@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ひと 認め合い、支え合う人をつなげます
生涯を通じた健康づくりを応援します



拡 充	4款 ― 1項 ― 5目 (予防費)	
	予防接種事業	令和8年度事業費 207,770千円

妊婦のRSウイルス母子免疫ワクチン接種と予防体制充実により住民の健康を促進します。



予防接種法に基づき、住民が円滑に予防接種を受けられる体制を整備します。

令和8年度からは、75歳以上の方のインフルエンザワクチン接種に高用量ワクチンが選択できるようになります。

また、新たに妊婦を対象にRSウイルス母子免疫ワクチン接種を実施し、出生後の新生児・乳児における下気道疾患の予防につなげます。これらの取り組みを通じて、地域全体の健康増進を目指します。

主な経費

役務費(郵便料、保険料)	2,811千円
委託料	193,599千円
負担金補助及び交付金	10,712千円
その他の経費	648千円

財源

国庫負担金	855千円
県補助金	2,644千円
市税等で負担する額	204,271千円

担当課：健康福祉部 健康課

電 話：0536-23-8551

メールアドレス：hoken@city.shinshiro.lg.jp

健康福祉部 こども未来課 こども家庭センター

電 話：0536-23-7621

メールアドレス：kosodate@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系		<div>3 すべての人に健康と福祉を</div> <div>15 陸の豊かさも守ろう</div>
<div>ひと</div> 能力と個性を生かす力を育てます 安心で居心地の良い学校環境づくりを進めます		
継 続	10款 — 5項 — 5目 （学校給食費）	
	学校給食共同調理場運営事業	令和8年度事業費 532,856千円

学校給食に地域で生産された有機米を段階的に導入します。

現在学校給食では、慣行農法で栽培された農産物を使用していますが、慣行農法とは異なる有機農法により地域で生産された有機米を収穫量や価格などを勘案しながら段階的に導入します。

主な経費

報酬(給食センター運営委員会に対する費用)	45千円
報償費(その他委員会に対する費用)	48千円
旅費(各委員会に対する旅費、普通旅費)	15千円
需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費)	286,535千円
役務費(通信運搬費、手数料、保険料)	1,538千円
委託料(施設・設備保守点検業務、学校給食調理等業務)	244,022千円
使用料及び賃借料(複合機賃借料ほか)	448千円
備品購入費(調理器具等)	200千円
負担金補助及び交付金(給食センター連絡協議会会費)	4千円
償還金利子及び割引料(過年度給食費還付金)	1千円

財源

国庫補助金	29,415千円
県補助金	95,752千円
学校給食費収入	96,285千円
その他収入	477千円
市税等で負担する額	310,927千円

担当課：教育部 学校給食課

電 話：0536-22-9906

メールアドレス：kyushoku@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 人生100年の安全安心をつくります

防災対策を進めます



継 続	9款 — 1項 — 3目 (災害対策費)	
	防災行政無線保守管理事業 (防災行政無線戸別受信機購入)	令和8年度事業費 12,540千円

災害時の情報伝達手段を確保します。



防災情報を迅速かつ確実に伝達するとともに災害発生時の通信手段として、戸別受信機を全世帯に貸与しています。この戸別受信機は最も古いもので18年が経過しており、そのため故障による交換が増加しています。

今後、防災情報の発信については、「防災アプリ」を中心とした体制へ移行する予定ですが、暫定対応として現行の新型受信機を購入し、引き続き故障対応をおこなっていきます。

アプリのダウンロードはこちらから



Apple Store



Google Play

主な経費

防災行政無線戸別受信機購入	12,540千円
---------------	----------

財源

県補助金	4,180千円
市税等で負担する額	8,360千円

担当課：総務部 防災対策課

電 話：0536-23-7660

メールアドレス：bosa@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 居心地の良い暮らしをつくります
地域に寄り添う公共交通網をつくります



継 続	2款 ― 1項 ― 12目 (路線バス運行費)	
	地域公共交通計画推進事業 (地域公共交通運営補助)	令和8年度事業費 2,500千円

住民主体の地域交通組織へ運行費を補助します。



地域における生活の足を確保するため、山吉田ふれあい交通など、住民が主体となって運営する地域交通組織に対し、運行経費の補助を行います。地域の実情に合わせた共助による移動サービスの継続を支援し、持続可能な地域公共交通網の維持と市民の利便性の向上を図ります。

主な経費

補助金	2,500千円
-----	---------

財源

市税等で負担する額	2,500千円
-----------	---------

担当課：市民協働部 公共交通対策課

電 話：0536-23-7692

メールアドレス：kotsu@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 人生100年の安全安心をつくります
地域福祉を進めます



継 続	3款 — 2項 — 1目 (老人福祉費)	
	市民後見人育成事業	令和8年度事業費 599千円

判断能力が不十分な方の権利と生活を守る担い手を育成します。



認知症や障がい等により判断能力が不十分な方について、財産管理や契約行為等を支援し、権利と生活を守る役割を担う市民後見人を育成し、誰もが安心して日常生活が送れるようにします。

市民向けに市民後見人育成研修を行い、受講を修了した方に法人後見業務を手伝っていただき、判断能力が低下した方を支える人材の育成を図ります。

令和4年度から始めた本事業では、4年間で受講者数48人のうち、32人が市民後見人として登録。市民後見業務の受任件数は13件となっています。

主な経費

委託料	599千円
-----	-------

財源

県補助金	292千円
市税等で負担する額	307千円

担当課：健康福祉部 高齢者支援課

電 話：0536-23-7688

メールアドレス：korei@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 人生100年の安全安心をつくります
病院・診療所の体制を整えます



新 規	4款 — 1項 — 6目 (休日・夜間診療所費)	
	休日診療所運営事業 (新城休日診療所の空調改修工事)	令和8年度事業費 12,386千円

新城休日診療所の空調改修工事を行います。



新城休日診療所は、開設から20年以上が経過しています。

本施設の空調機器は、R22冷媒を使用しており、故障してしまうと修理ができなくなり長期に渡り施設運営に支障がでる可能性があるため「新城市公共施設個別施設計画」において長寿命化とした施設に対し計画した「新城市公共施設空調機改修計画」に基づき、空調設備の改修工事を行います。

主な経費

空調設備改修工事一式	12,386千円
------------	----------

財源

地方債	11,100千円
市税等で負担する額	1,286千円

担当課：健康福祉部 地域医療支援室

電 話：0536-25-7210

メールアドレス：chiiki-iryo@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 居心地の良い暮らしをつくります
道路施設の整備を進めます



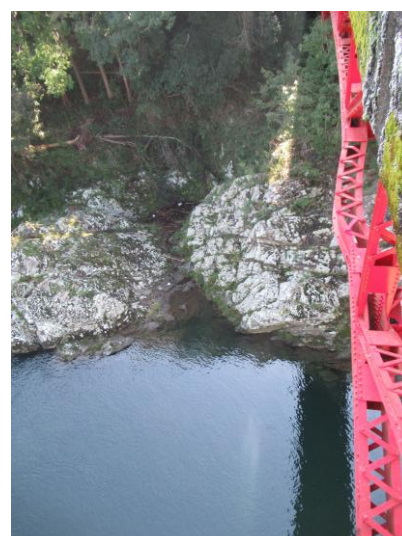
継 続	8款 — 2項 — 3目 (道路新設改良費)	
	橋梁・トンネル・大型構造物長寿命化 対策事業 (長篠橋)	令和8年度事業費 36,000千円

長篠橋撤去の詳細設計および長篠橋周辺道路整備を行います。

令和5年度の橋梁点検で長篠橋（市道長篠大海線）の主要部材に損傷が見つかり、現在通行止をしています。長篠橋の撤去工法が決定したため、令和8年度は、長篠橋を撤去するための詳細設計業務を実施します。あわせて、長篠橋周辺道路整備を行い、地域住民の負担軽減を図ります。



損傷箇所



損傷箇所拡大

主な経費

長篠橋撤去詳細設計業務	20,000千円
用地測量業務	6,000千円
長篠橋周辺道路整備	10,000千円

財源

国庫補助金	19,250千円
地方債	14,100千円
市税等で負担する額	2,650千円

担当課：建設部 土木課

電 話：0536-23-7638

メールアドレス：doboku@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 人生100年の安全安心をつくります
消防体制を充実します



新 規	9款 — 1項 — 1目 (常備消防費)	
	消防水利整備事業	令和8年度事業費 20,482千円

耐震性貯水槽を整備し、地域防災力の強化に努めます。



消防水利重点整備計画に基づき、消防水利の不足する地域に耐震性貯水槽を整備し、有事の際における消火活動を迅速に行うことで市民の生命、身体及び財産を火災から保護し、被害の軽減に努めます。

主な経費

工事請負費	20,482千円
-------	----------

財源

国庫補助金	5,303千円
地方債	15,100千円
市税等で負担する額	79千円

担当課：消防本部 消防署

電 話：0536-22-4806

メールアドレス：tsushinshirei@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 人生100年の安全安心をつくります

消防体制を充実します



新 規	9款 — 1項 — 1目 (常備消防費)	
	消防通信指令運用事業 (消防救急デジタル無線施設全更新工事)	令和8年度事業費 333,960千円

消防救急デジタル無線を更新し、通信連絡体制の安定稼働を図ります。



東三河消防通信指令事務協議会の更新計画に基づき、老朽化した消防救急デジタル無線を更新整備することで機能向上及び安定稼働を図り、災害時における迅速確実な通信連絡体制を整えます。

主な経費

工事請負費	333,960千円
-------	-----------

財源

地方債	333,900千円
広域消防事務費負担金	19千円
市税等で負担する額	41千円

担当課：消防本部 消防署

電 話：0536-22-4806

メールアドレス：tsushinshirei@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

ちいき 地域資源を最大活用します。

歴史・文化・自然の紹介・活用を進めます。



新 規	10 款 — 4 項 — 3 目 （文化財保護費）	
	新城開府450年事業	令和8年度事業費 3,257千円

新城開府450年事業【全国山城サミット】を開催します。



長篠・設楽原の戦いの翌年、郷ヶ原に新しいお城が築られました。これが新城城であり、新城の始まりです。令和8年度は、新城が開かれて、450年という大きな節目となります。

これを記念して【第33回全国山城サミット】を招聘し、新城文化会館を会場に開催します。

期日：令和8年11月28日（土）～29日（日）

内容：シンポジウム・講演会

ブース出展（全国山城サミット連絡協議会加盟団体・近隣市町村・市内各種団体）

城跡案内（①長篠城跡、②古宮城跡・亀山城跡、③新城城跡）

音楽会・キッチンカー・オープニングアクト

主な経費

報償費及び旅費	1,103千円
需用費	1,254千円
役務費	412千円
使用料及び賃借料	488千円

財源

助成金	1,900千円
出版物等頒布代金	501千円
受講料	400千円
みんなのまちづくり基金	228千円
市税等で負担する額	228千円

担当課：教育部 生涯共育課（設楽原歴史資料館）

電 話：0536-22-0673

メールアドレス：shitara@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

まち 経済と生活を支える都市基盤を支えます
市の活性化につながる公共交通網をつくります



拡 充	2款 — 1項 — 12目 (路線バス運行費)	
	公共バス運行事業 (バス待合所整備工事・公共交通乗継利便増進業務)	令和8年度事業費 9,831千円

奥三河の交通結節点機能強化と利便性向上を図ります。



奥三河地域の交通結節点としての機能を強化し、利用者の利便性を向上させるため、道の駅もつくる新城にバス待合所を整備します。あわせて、同所および本長篠駅、本長篠バスターミナルにデジタルサイネージを設置して路線や観光情報を分かりやすく発信し、市民や来訪者が快適に利用できる公共交通環境をつくります。

主な経費

委託料	5,200千円
工事請負費	4,631千円

財源

国庫補助金	4,914千円
市税等で負担する額	4,917千円

担当課：市民協働部 公共交通対策課

電 話：0536-23-7692

メールアドレス：kotsu@city.shinshiro.lg.jp

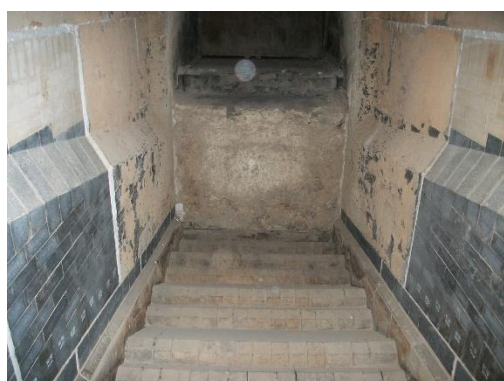
第2次新城市総合計画の施策体系

まち 緑でゆとりを生み出します
持続可能な自立循環のまちをつくります



継 続	4 款 ― 2 項 ― 3 目 (クリーンセンター費)	
	クリーンセンター整備事業	令和8年度事業費 198,088千円

クリーンセンターの整備を実施します。



焼却炉内

新城市クリーンセンターは施設稼働から20年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

施設を安全かつ適正に運転するため、平成24年5月に策定した長寿命化計画に基づき、設備の更新を行います。

令和8年度は、焼却炉耐火物（令和8年度・9年度継続費）、セメントコンベア（令和8年度・9年度継続費）、ボイラ給水ポンプ（令和8年度・9年度継続費）、非常用発電機及び排出コンベア（令和7年度・8年度継続費）の更新工事を実施します。

主な経費

焼却炉耐火物取替工事 (R8・R9継続費 R8年度分)	59,400千円
セメントコンベア更新工事 (R8・R9継続費 R8年度分)	14,168千円
ボイラ給水ポンプ更新工事 (R8・R9継続費 R8年度分)	12,320千円
非常用発電機更新工事 (R7・R8継続費 R8年度分)	52,800千円
排出コンベア更新工事 (R7・R8継続費 R8年度分)	59,400千円

財源

地方債	178,100千円
市税等で負担する額	19,988千円

担当課：市民協働部 生活環境課

電 話：0536-23-7629

メールアドレス：kankyou@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

まち 地域産業の振興で賑わいを創出します
がんばる中小企業を応援します



継 続	5款 — 1項 — 1目 (労働諸費)	
	地域の人事部組織構築準備事業	令和8年度事業費 11,869千円

「選ばれる」ための変革を望む企業に寄り添う組織構築を目指します。



社会構造の急激な変化により地域企業の人材不足が深刻化する中、あらゆる人材が活躍できる機会を創出するための「働き方改革」を進めるとともに、各産業を担う人材を育成することを目的とした「新城市雇用創造協議会」を設立しました。

協議会で一定の成果は出ているものの、依然として人材不足は深刻であり、特に中小企業においては従業員の高齢化が進んでいます。

人材不足は全国的な問題であり、個社単位での採用活動は限界にきているため、経済産業省が地域一体となって人材の獲得・育成・定着に取り組む「地域の人事部」を推進しています。本市においても「中核人材の育成・確保」を軸とし、「企業間交流」や「採用支援」を行いながら意欲ある若者から選ばれる企業になれるよう、地域一体となって取り組む組織構築を目指します。

主な経費

地域の人事部組織構築準備業務委託料	10,369千円
地域おこし協力隊活動サポート業務委託料	1,500千円

財源

市税等で負担する額	11,869千円
-----------	----------

担当課：産業振興部 産業政策課

電 話：0536-23-7634

メールアドレス：shoukou@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

まち 農林業を成長産業にします
林業・木材産業の活性化を進めます



継 続	6款 — 3項 — 2目 (林業振興費)	
	新城木育プロジェクト事業	令和8年度事業費 4,382千円

木と共に育む豊かな心「木育教室」を開催します。



幼い頃から本物の木とふれあい、豊かな心と創造力を育むことを目的として、市内全てのこども園を対象に木育教室を実施します。

この教室では、森林についての理解を深める紙芝居、木の玩具遊び、講師指導のもと、端材を利用した木工体験を行います。

また、その他の取り組みとして、新生児を対象として地域材で作られた積み木の贈呈や小学生を対象とした森林教室を実施します。実際に木に触れ、香りやぬくもりを感じながら、遊びと学びを両立させることで、木材の大切さやその魅力を伝え、森林への興味・関心を育み、未来の森づくりの担い手の育成に繋がります。

主な経費

森林教室委託料	1,138千円
新生児誕生祝い品作成業務委託料	2,702千円
報償費	333千円
その他の経費	209千円

財源

市税等で負担する額(森林環境譲与税充当)	4,382千円
----------------------	---------

担当課：産業振興部 森林課

電 話：0536-22-9935

メールアドレス：ringyou@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

まち 地域産業の振興で賑わいを創出します
地域資源を活かした観光戦略を進めます



継 続	7款 — 1項 — 3目 (観光振興費)	
	アジア競技大会推進事業	令和8年度事業費 3,333千円

アジア競技大会に向け気運を醸成する事業を実施します。



令和8年度に開催が予定されている第20回アジア競技大会において、本市を発着とするコースが自転車ロードレースの競技会場として予定されています。

聖火リレーの実施やのぼり旗や横断幕を市内に設置し、アジア競技大会に向けた気運を醸成します。

主な経費

聖火リレー運営業務委託料	677千円
消耗品費(アジア大会 PR 横断幕等)	185千円
観光ガイドブック印刷(日本語版・外国語版)	1,430千円
その他の経費	1,041千円

財源

みんなのまちづくり基金	1,666千円
市税等で負担する額	1,667千円

担当課：産業振興部 観光課

電 話：0536-23-7613

メールアドレス：kankou@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

行政経営 将来に責任を持つ行財政運営をします
公共施設の適正配置と効率的な管理を進めます



継 続	2款 — 1項 — 7目 (財産管理費)	
	公共施設マネジメント推進事業	令和8年度事業費 5,036千円

公共施設の適正配置と効率的な管理を進めるため

計画の見直し・策定を行います。



公共施設等の安全安心の確保・市民に必要なサービスの適切かつ持続可能な形での提供を目標に、既存施設の総量縮減・長寿命化・有効活用による維持更新費用縮減の一層の推進を図るため、『新城市公共施設等総合管理計画』の見直しと『新城市公共施設個別施設計画（第2期）』の策定を行います。

主な経費

報償費	383千円
費用弁償	37千円
需用費	7千円
公共施設マネジメント支援システム保守業務委託料	682千円
新城市公共施設個別施設計画(第2期)策定等支援業務委託料	3,927千円

財源

市税等で負担する額	5,036千円
-----------	---------

担当課：総務部 資産管理課

電 話：0536-23-7614

メールアドレス：shisan@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

行政経営 将来に責任を持つ行財政運営をします
将来を見据えた健全で持続可能な財政運営を行います



継 続	2款 — 2項 — 2目 (賦課徴収費)	
	固定資産家屋全棟調査事業	令和8年度事業費 57,827千円

市内全域の建物を調査し、公平、公正な課税を目指します。



固定資産税の家屋課税台帳に登録されている事項（所在地番、用途、種類、構造、床面積等）と家屋の現況を、現地において比較照合し、すでに取り壊されている家屋や、未調査等となっている家屋を特定し、調査を行います。

市全域を調査し、これまで課税されている家屋との公平を期し、公正で適正な固定資産税の課税を行います。

主な経費

未評価家屋評価補助業務委託料	57,827千円
----------------	----------

財源

市税等で負担する額	57,827千円
-----------	----------

担当課：総務部 税務課

電 話：0536-23-7615

メールアドレス：zeimu@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

行政経営 将来に責任を持つ行財政運営をします
将来を見据えた健全で持続的な財政運営



新 規	2款 — 1項 — 9目 (企画費)	
	総合計画策定事業	令和8年度事業費 6,059千円

市民の声を総合計画に反映し、まちづくりの方針を定めます。



平成30年度に策定した「第2次新城市総合計画」の後期基本計画（令和9年度から令和12年度まで）を策定します。後期基本計画には、市民4,000人を対象とした市民満足度調査の結果を反映させるとともに、総合計画審議会を開催し内容を協議します。

主な経費

総合計画審議会委員報酬	360千円
総合計画審議会委員費用弁償	25千円
総合計画後期基本計画策定支援業務委託料	5,674千円

財源

市税等で負担する額	6,059千円
-----------	---------

担当課：企画部 企画調整課

電 話：0536-23-7620

メールアドレス：kikaku@city.shinshiro.lg.jp

第2次新城市総合計画の施策体系

行政経営 情報技術でひと・ちいき・まちをつなげます
デジタルトランスフォーメーションを推進し、
行政運営の効率化と市民サービスの向上に取り組みます



継 続	2款 — 1項 — 9目 (企画費)	
	自治体DX推進事業	令和8年度事業費 18,393千円

デジタルの活用により市民の利便性の向上と業務の効率化を図ります。



窓口業務の改革や各種手続きのデジタル化を進め市民生活の利便性の向上を図ります。

また、市役所業務のデジタル化も進めることで行政運営の効率化に取り組みます。

主な経費

委託料	6,763千円
各種システムの利用料	11,485千円
その他の経費	145千円

財源

市税等で負担する額	18,393千円
-----------	----------

担当課：企画部 情報政策課

電 話：0536-23-7612

メールアドレス：johoseisaku@city.shinshiro.lg.jp